

法政大学報

郵便番号 102-8160
東京都千代田区富士見
2丁目17番1号
発行 法政大学
編集 総長室

第35号 主な内容

2010年度入試展望 (2面)
卒業生・新入生アンケートの結果から (3面)
OG訪問・活弁士 澤登翠氏 (4面)
付属校短信 (4面)
座談会 法政大学のキャリア教育・支援 (5面)
座談会 法政大学のキャリア教育・支援 (6・7面)

「サステイナビリティ研究教育機構」の設置など (1211面)
OG訪問・活弁士 澤登翠氏 (109面)
付属校短信 (9面)
絆深まるオレンジネットワーク事業 (8面)
体育会の活躍 (11面)

最新情報は

<http://www.hosei.ac.jp/>

成長の循環



法政大学ピアサポートコミュニティ (Hosei PSC)「手話講座入門編」
大学と学生が協働する学生支援制度。支援を受けた学生がプログラムを通して成長・発達し、支援する側に転化していく——PSCでは、こうした学生の成長の循環が生まれること、成長発達の循環過程の中で「社会人基礎力」が身に付いていくことを期待している。

巻頭言



総長

増田 壽男

グリーン・ユニバーシティをめざして

2009年10月に、法政大学で第3回国際コキアム東京「教育とサステイナビリティ・ダイベロップメント—21世紀いかにその課題に対処するか—」が開催された。これは2002年国連総会で、わが国の提案によって採択された「持続可能な開発のための教育の10年」の具体化として、スイス連邦工科大学チューリッヒ校、東京大学、国連大学、法政大学の4大学が2005年から始めた企画である。今回はノーベル化学賞受賞者のリヒャルト・エルンスト氏をはじめとする内外の研究者、政策決定者、ビジネスの代表者、学生が参加し活発な議論が展開され、大学がより高いリーダーシップを発揮して、象牙の塔から抜け出し、地域社会とグローバルな社会が対処すべき問題解決に向けて行動すべきであるというメッセージを発信した。

法政大学は環境問題に大学として早くから取り組んできた。本学は1999年に環境憲章を制定し、総合大学としてはわが国初となるISO14001の認証を取得した。それ以降10年にわたり「グリーン・ユニバーシティ」の実現に向けてさまざまな活動を続けてきた。前述したコキアムもその一つだが、本学の特色として環境マネジメントシステム(EMS)審査員を養成するため、「EMS審査員研修講座」を実施してきた。研修講座は2005年日本適合性認定協会の認定を受けて開設し、2007年に産業環境管理協会から承認を受け研修を継続してきている。本学はこの研修講座を開設している、わが国唯一の大学である。

市ヶ谷地区では千代田区と「千代田区環境マネジメントシステム」に関する事業協定を締結し、85万人の昼間区民を含む区民の環境行動を促す仕組みを提言するゼミを人間環境学部を設置し、研究教育を行っている。新宿区とは、区の主催する「ゴミゼロデー」などに参加し、法政大学環境センターは区の主催する「第2回新宿エコワン・グランプリコンテスト」で「チャレンジ賞(事業者部門)」を獲得した。またエコ地域デザイン研究所が中心となって日野市と事業協力協定を結び、「水の郷・日野の地域活性化プロジェクト」を共同で実施している。

多摩キャンパスでは広大な校地の約6割を占める里山の整備・再生のための実態調査を始めた。また学生サークル「H.E.L.P.」はシイタケ栽培、たけのこ堀りなど、里山の自然を生かす活動を行っている。

オバマ大統領が就任演説でグリーン・ニューディールを掲げ、鳩山首相が90年比25%のCO2削減を表明し、地球環境問題が政治の中心課題になりつつある現在、1960年代の公害問題の多発、その中でもいまだ解決されていない水俣病の問題提起から始まった日本の環境問題について、さらには地球環境問題というグローバルな問題について、わが国の大学がリーダーシップを執ることが求められている。本学がこの課題に向けて研究と教育の両面で、より一層の努力をする必要が要請されているといえる。

教学の充実と学生力の活用

「自由と進歩」に基づく新たな 教学改革のはじまり

教育支援本部担当常務理事

浜村 彰

法政大学は、「自由と進歩」の建学の精神に基づき、「開かれた大学・開かれた精神」や「自立型人材の育成」などを基本理念に掲げながら、時代の最先端を行く人材の養成に挑戦してきた。その結果、2009年4月に開設されたスポーツ健康学部をもって、15学部35学科、14大学院研究科1インスティテュート、2専門職大学院研究科というフルラインの教学体制を誇るにいたっている。

新たな基本ミッションと迅速な取り組み

今期理事会は、「自由と進歩」の建学の精神をもって何事にも絶えず挑戦し、新しい伝統を創造し続けること」を新たな基本ミッションとし、とりわけ教育研究面では「激動する21世紀の難局を打開できる自立的人間力豊かなリーダーの育成と時代の最先端を行く高度な研究」をミッションに掲げて、大学改革の新たな一歩を踏み出している。

2010年4月には現代福祉学部が、現代福祉学科から福祉コミュニケーション学科と臨床心理学の2学科体制に改組するとともに、大学院においては、デザイン

工学研究科、政治学研究科、国際政治学専攻、工学研究科生命機能学専攻の1研究科、2専攻が新たに開設される予定である。

評価室を設置した。これは、自己点検・評価活動の実践主体として大学自己点検委員会、その客観的評価を行う大学評価委員会を発足させ、絶えまない教育の質を高め、新たな改革のステップを繰り返すための全学的なサイクルの構築を目指すものである。2009年度においては各セクションによる現状分析・中期的到達目標の設定と評価委員会によるその評価と改善のための問題指摘が行われ、2010年度においては、ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)、カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)、アドミッシン・ポリシー(入学者受入れの方針)の三つのポリシーの明確化などが目標とされている。

着手することが、今後の新たな教学改革のはじまりとなる。

その一は、学部教育の質保証である。この課題に際しては、学部教育の充実化作業部会の中間答申を受け、2009年9月から授業支援を行う「学生アシスタント制度」が導入され、11月には各学部の進めている教学改革への情報提供と学士課程教育の充実化をサポートすることを目的として教育開発支援機構が設置された。

これは、従来から授業改善に取り組んできたFD推進センターをこの機構に組み込むとともに、学生の主体的な学習環境の整備をはかる学習環境支援センターを設置して、「教育」と「学習」の質の相乗的な向上を図ることを目指すものである。また、2010年4月には、教養教育を専門教育と相補の関係にある学士課程教育のもう一つの重要な柱と位置付けて建学の精神に基づいた学部横断的な教養カリキュラムの開発支援を行うことを目的とする市ヶ谷リベラルアーツセンターを設置する予定である。

その二は、本学のアカデミックリーダーとしての大学院の改革である。大学院改革作業部会の中間答申を受け、2010年4月から大学院の競争力の強化と

本学の将来を担う教育研究者や高度職業専門人の学びの機会を広げるために大学院の学費の大幅引き下げを断行する。今後は人文科学系、社会科学系、自然科学系の各研究科と専門職大学院の教育改革を進めるとともに、14にも上る研究科の組織再編に取り組んでいく中で大学全体に占める大学院の存在意義を高めていく予定である。

その三は、「生涯教育の担い手」としての通信教育の改革である。高齢化進展の進展は、社会人教育としての通信教育の可能性を広げている。にもかかわらず本学通信教育の改革は長らく停滞していた。現在、通信教育改革検討委員会で、2011年度のスタートを目指す鋭意検討しており、従来の添削指導中心から、メディア教育やeラーニング教育を主体としたIT型教育システムに大きく様変わりすることになる。

最後は、付属校改革である。今期理事会においては、法政中高の移転に続き、二中高と女子高の改革を重点課題と位置付けており、新天地への移転の可能性を含んだ施設刷新と高大連携強化が付属校改革・高大連携作業部会で検討されている。付属校の競争力強化と一貫教育の充実化が学校法人全体の発展にとって重要な課題であることは他言を要しない。2010年度中には具体的プランが策定される予定である。



実践感覚を磨く現代福祉学部の授業の様子

改革や研究の高度化などをテーマとする各種作業部会での審議を進めながら、最終答申を待たずにできるところからスピーディーな改革を進めている。たとえば大学教育の質保証を目指した全学体制の確立のために、2008年11月に大学

新たな教学改革のはじまり

これまで本学は、教学改革については、今日の15学部体制にいたる学部の増設・改組転換に比重が置かれてきた反面、本学全体の発展にとって同じくらいに重要な課題にあまり手がつけられていなかった。これら

残された課題に本格的に

着手することが、今後の新たな教学改革のはじまりとなる。

その一は、学部教育の質保証である。この課題に際しては、学部教育の充実化作業部会の中間答申を受け、2009年9月から授業支援を行う「学生アシスタント制度」が導入され、11月には各学部の進めている教学改革への情報提供と学士課程教育の充実化をサポートすることを目的として教育開発支援機構が設置された。

新しい学生支援のあり方

学生生活の充実と自立に向けて

学生支援本部担当常務理事

星野 勉

現状と課題

かつての大学には、大学生は一人前の大人であり、自立した学習者であるべきであるという伝統的な考え方があった。勉強するかしら、就職するかができても、職場とのミスマッチばかりか、倒産や解雇の不安までもが絶えず付きまとう。なにか大人になりきれない学生の一人ひとりに、このような厳しい社会を生き抜いていくことのできる力量を身に付けさせるには、一体どうしたらよいか。現在大学にはこのような重い課題が突き付けられている。

自立に向けての学生支援

しかし、今では時代が大きく変わり、大学に入ったものの大学で何をしたらよいか分からないという学生を多く見かける。かつては学生の個人的・社会的な成長に一役買ったという役割が、学生支援部局に求められている。しかし、学生支援とは、一方で、学生が充実した学生生活を送る上で必要とされるサポートを丁寧に行うこと、よく面倒を見ることであるが、他方で、それはあくまでも学生自身の視点や活力を最大限に生かし、「自立」を促すものでなくてはならない。学生の「自立」を促すための面倒見のよさ、ここに学生支援の難しさがある。

ピアサポート・コミュニティの構築

学生のニーズに応え、学生の「自立」を促す学生支援を実現するためには、「学生の視点」と「学生の活力」を生かすことが肝要である。本学ではこの点に關して新入生合宿やオープンキャンパスなどで既に実績があり、学生が持ちこたえられない視点や実行力はこれらを通して支える側と支援される側とがお互いに成長する可欠となっている。新しい学生支援のためには、こうした学生の潜在的な力(学生力)を最大限に活用して、学生と教職員とが協働する体制を築くことが求められる。こうして構築されたのが、ピアサポート・コミュニティの構築である。ピアサポート(peer support)とは、例えば、上級生が新入生に学習方法や学生生活のアドバイスを行うなど、対等な立場に立つ学生



富士山清掃など外部でのボランティア活動も積極実施

支援、同郷会(県人会)、課外教養プログラム)を立ち上げることによって、学生同士が思いを共有し、助け合うことのできる「場」コミュニティをつくり上げることから始まった。このピアサポート・コミュニティでの活動を通じて、学生は支援を受ける側から支援する側に転化していくが、そのなかで「自立」に必要な「問題解決能力」を、そして「社会性」を身に付けるのである。

大麻等薬物乱用防止策

残念ながら昨年度、大麻取締法違反容疑で本学から逮捕者を出す事件が発生した。事件後、本学は、再発防止に向けて、施設改修工事、広報・セミナー・講習会による啓発活動などに取り組んできたが、この問題については、学生一人ひとりがいかに充実した学生生活を送るかにかかっていると懸念されている。

執拗に繰り返される組織的業務妨害の防止

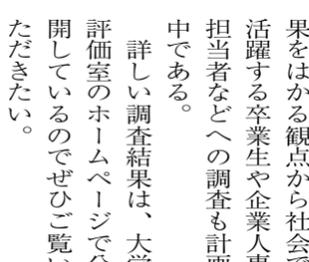
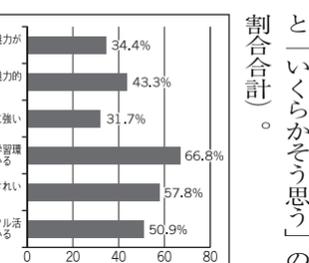
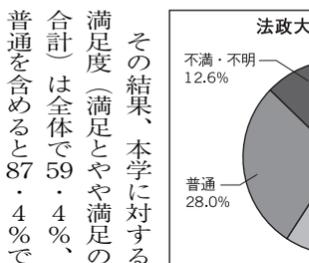
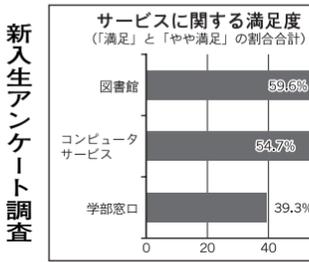
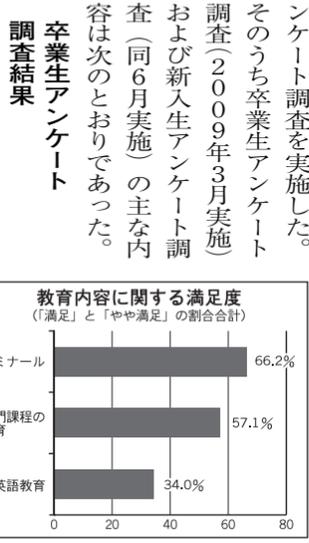
本学は、連日のように繰り返し業務妨害を受けています。これを学生運動として報じるマスコミもありますが、実態はほぼ環境を損ない、業務の平穏を害するまでに及んでいません。本学は、教育研究環境の安全と安心の確保・維持を目指し、業務を妨害する違法行為はもちろんであるが、度を過ぎた迷惑行為に対しても毅然とした姿勢を今後とも堅持していきます。ご理解とご協力をお願いします。



新入生合宿でのピアサポートの様子

卒業生・新入生 アンケートの結果から

大学評価室では、大学の諸活動の改革・改善に役立てるために各種アンケート調査を実施している。これまで①卒業生②新入生③保護者を対象に大学に対する満足度と期待度を尋ねるアンケート調査を実施した。



その結果、本学に対する満足度(満足とやや満足の合計)は全体で59.4%、普通を含めると87.4%であった。また、入学学部への満足度は全体で56.8%、普通を含めると82.5%であった。

その機能の一つは、応募したサポーター(学生)たちが、学生の視点で選書することであり、もう一つは、サポーターと図書館員が懇談しながら図書館サービスを提供することである。

③「学習アドバイザー制」の内容は、大学院生による学生へのレポート・論文作成の支援、プレゼンテーションの助言や学習支援である。図書館内の専用デスクに待機している大学院生は、学生たちの良きアドバイザーになっている。

④「ライティング講座」は、本年度秋季に開始されたサービスである。外部講師によるレポート・論文を一層高めていくつもりである。

進化する図書館

本学図書館は、「法政大学図書館将来計画2004〜2010」(2004年7月)を策定し、利用者満足度の向上を目指して、さまざまな活動を展開してきた。この間の進展は「図書館の進化」と呼ぶにふさわしいものである。

進化の方向は「サービスの充実」であり、とりわけ「学習支援の強化」である。図書館は、この方向へリエン・ライブラリアンという旗をかかげて進んでいる。リエン・ライブラリアンとは、教員や学生と強い関係をつくりながら、サービスを提供

は、本学および入学学部への満足度、入学後の本学に対する印象、本学の社会的評価(イメージ)、受験にあたって参考となった情報源などについて調査した。

次に入学期の入学に関する印象は左のグラフの通りである。数値は「そう思う」と「いくらかそう思う」の割合合計。

アンケート結果は、自由記述欄の回答も含めて全教職員に周知し、関連部署において改善策を検討し改善の向上に活用している。

今後、アンケートを継続し経年変化について分析していきたいと考えている。また、長期的な教育効果をはかる観点から社会で活躍する卒業生や企業人事担当者などへの調査も計画中である。

詳しい調査結果は、大学評価室のホームページで公開しているのでぜひご覧ください。
<http://www.hosei.ac.jp/physkal/>

「第3回国際」ロキアム 東京2009」を開催

10月7日、国際シンポジウム「第3回国際ロキアム東京2009」(東京ロキアム2009)法政大学・スイス連邦工科大学チューリッヒ校・東京大学・国連大学との共催が「教育とサステイナビリティ・ディベロップメント」21世紀いかにその課題に対処す

るか」(ESD)をテーマに、法政大学市ヶ谷キャンパスのスカイホールなどを会場に開催された。

東京ロキアムとは、2005年、2007年と本学で開催され、教育とサステイナビリティに関する専門家が集まり、意見交換を行うもの。高等教育機関におけるサステイナビリティ教育についての最新動向を伝え、世界の有名大学の経験を省みる貴重なプラットフォームとなっている。今年も各大学の代表者がESDにおける取り組みについて講演を行った。講演とパネルディスカッションのほかに、3つの

ワークショップも用意され、それぞれのテーマの専門家を招き高等教育機関におけるサステイナビリティ教育について深い議論が行われた。

本シンポジウムは、増田総長の開会あいさつに始まり、この分野で国際的な発言をしている、ノーベル化学賞の受賞者でもあるリチャルト・エルンスト博士が基調講演を行った。続いて世界最大のリーダがそれぞれの大学の環境分野への先進的な事例について紹介。本学からは徳安彰常務理事が本学の環境活動について講演した。

閉会あいさつでは安富正文氏(東京地下鉄株式会社顧問・元国土交通事務次官)が環境教育の重要性を訴え全体を締めくくった。



講演するリチャルト・エルンスト博士

保健康では、新型インフルエンザ(A型H1N1型)対策として、学生・教職員に罹患状況の把握および感染予防・拡大防止に努めている。

罹患状況の把握は、本人などから罹患の連絡を受けた後、その情報に基づいて学部・大学院ごと(付属校を含む)に罹患数を取りまとめ、毎日関係部に報告している。これは、本学の新型インフルエンザ対策マニュアルの一環でもあり、全学対策の要となるものである。また、この罹患

者数は最寄りの保健所にも報告され、それぞれの地域や国における対策の一助にもなっている。

感染予防・拡大防止については、予防対策や発症した場合の対策マニュアルを本学のホームページなどで学生・生徒、および教職員へ周知するとともに、各建物入口への消毒液の配備、本学の主任医師による教職員研修などを行っている。

また、学生などから罹患連絡を受ける都度、具体的な対処法を助言し、感染を最小限にとどめるよう努めている。

とともに、特に一人暮らしの学生には重症化を避けるため、罹患の報告を受けた後に、あらためて健康状態の確認をとるなど細かい対応を心掛けていく。ところで、現時点(11月中旬)で大学の罹患者数は、約900人(死亡者、重症者とも0人)で、これは全学部の約3%に相当するが、この数値は首都圏の他大学とほぼ同様な数値である。このことから、新型インフルエンザに対して、本学を休めることで重症化を防ぐことなどである。これらはすでに言い尽くされていることではあるが、継続的に実行することは容易ではなく、引き続き啓発活動に努めていきたい。

東京法学校の教頭に就任したボアソナードは、帰国の途につくまでの10年間にわたり教育に情熱を注ぎ、本学の基礎固めに精魂を傾けた。ボアソナードにより培われたフランス自然法的近代法の基本理念は、本学の「自由と進歩」の学風をつくりあげる基盤となった。

1903(明治36)年、財団法人和仏法律学校法政大学と校名を改め、総理(現在の総長)に就任したが、わが国「民法の父」といわれる梅謙次郎である。

「空前絶後の立法家」「先天的な法律家」と称された梅謙次郎は1890(明治23)年、本学の懇請により和仏法律学校の学監兼務に就任以来、51歳で急逝するまで20年以上にわたって献身的に尽くした。

ボアソナード

梅謙次郎

ボアソナード

梅謙次郎

2010年度 入試 展望

2010年度の入試改革

2009年度は、新たに設置されたスポーツ健康学部が一般入試で3000人を超える志願者を獲得し、順調な滑り出しを迎えた。これからは新学部増設を中心とする改革から、既存学部での教育の質保証と学科再編を中心とする教学改革にシフトすることとなる。

その一環として2010年度は現代福祉学部の学科再編が行われ、現在の現代福祉学部の1学科から福祉コミュニティ学科および臨床心理学の2学科体制に移行予定である。福祉コミュニティ学科はウェルビーイング(健康で幸福な暮らし)を実現する福祉コミュニティを創造する地域社会の福祉リーダー育成を指す。一方、臨床心理学は「東京六大学」で初めての本格的な臨床心理学で、心のサポートを通してウェルビーイングの実現に貢献できる人材育成を目的とする。この2学科では2009年度までの入試と同様、T日程およびA方式を実施する。T日程はこれまで「英語」・「国語」の2科目が必須だったが、「英語」・「国語」または「数学」の2科目となり、受験生の選択の幅が広がる。

インテリジェント(健康で幸福な暮らし)を実現する福祉コミュニティを創造する地域社会の福祉リーダー育成を指す。一方、臨床心理学は「東京六大学」で初めての本格的な臨床心理学で、心のサポートを通してウェルビーイングの実現に貢献できる人材育成を目的とする。この2学科では2009年度までの入試と同様、T日程およびA方式を実施する。T日程はこれまで「英語」・「国語」の2科目が必須だったが、「英語」・「国語」または「数学」の2科目となり、受験生の選択の幅が広がる。

は昨今の受験生に人気のある学問系統であり、資格・就職をイメージしやすい社会福祉系統は、2009年度入試においても堅調な志願状況を示している。このような状況下での新学科開設は受験生のニーズとマッチし、さらに志願者増が期待できるものと考えている。

設置2年目となるスポーツ健康学部は、2010年度からセンター試験利用入試(前期・後期とも)に新規参加することによって、さらなる志願者獲得を目標とする。また同時に自己推薦特別入試およびトップアスリート入試の特別入試も新規に実施し、一般入試とは違う観点からの卓越した運動能力を持つ学生の募集一般入試全体の志願者数に占めるセンター利用方式の志願者割合は年々上昇しており、2008年度に30%を突破して、2009年度は31.1%となった。センター試験利用入試は受験料が一般入試に比べて廉価である上に、一般入試への出願者がセンター利用方式やセンター併用方式にも出願する場合、さらに受験料の割り引き制度を導入している大学も現在では少なくない。またセンター利用入試は一般試験に向けた特別な試験対策を行う必要がなく、併願の選択肢として活用しやすいメリットもあり、各大学において同制度を利用しての一層の受験生競争が激化していくことが予想される。

2008年度における過去最高の志願者数(9万7017人)により、本学の実質競争倍率(受験者数÷合格者数)は全学平均で6.5倍に上昇したが、2009年度入試はその反動を受けて同倍率は5.5倍に、志願者総数は8万5686人に減少した。このことは昨今の経済不況、それを受けての受験生の傾向変化(国公立志向、受験校数の絞り込み、地元志向など)の影響も作用していると思われる。従来の一般的傾向(隔年現象)が続くならば、2010年度入試においては回復基調となる可能性がある。

本学を取り巻く状況

大きい、必ずしもそうならない状況である。ところで2010年度は

2009年度と比べ18歳人口は若干増えると思われる。さらに同人口は今後10年間程度120万人近辺を推移するともいわれている。一方、私大の定員割れは中・小規模の大学を中心として今年度は46.5%におよび、ほぼ2校に1校の割合となっている。国公立(出前講義)のメニューを用意して高校にアピールする機会となり、さらなる志願者開拓に向けて、相乗効果も期待されている。今後も教職員およびオープンキャンパスでの学生スタッフの協力のもとで、学生募集から入学試験の安全実施に至るまで円滑に行うことにより、常時8万人後半から9万人台の安定的な志願者確保を図りたい。

2008年度における過去最高の志願者数(9万7017人)により、本学の実質競争倍率(受験者数÷合格者数)は全学平均で6.5倍に上昇したが、2009年度入試はその反動を受けて同倍率は5.5倍に、志願者総数は8万5686人に減少した。このことは昨今の経済不況、それを受けての受験生の傾向変化(国公立志向、受験校数の絞り込み、地元志向など)の影響も作用していると思われる。従来の一般的傾向(隔年現象)が続くならば、2010年度入試においては回復基調となる可能性がある。

より多くの受験生に選ばれる大学を目指して

開いている。また、法政大学校友連合会と後援会との共催で開催する「法政フェア」はこれまで広島、札幌、福岡、新潟、そして09年8月の仙台と本学地域入試の実施都市で行われてきた。さらに10月にも、校友連合会全国大会の日程とあわせて長崎で開催したが、法政ブランドを全国に広めるための格好の機会となり、さらなる志願者開拓に向けて、相乗効果も期待されている。今後も教職員およびオープンキャンパスでの学生スタッフの協力のもとで、学生募集から入学試験の安全実施に至るまで円滑に行うことにより、常時8万人後半から9万人台の安定的な志願者確保を図りたい。

今年度のオープンキャンパスは、3キャンパスで6月から10月にかけて、計11回にわたりに行われ、300人以上の学生スタッフの活躍などにより昨年度を上回る来場者を迎えることができた。また各学部の協力によりあらかじめ模擬授業の機会となり、さらなる志願者開拓に向けて、相乗効果も期待されている。今後も教職員およびオープンキャンパスでの学生スタッフの協力のもとで、学生募集から入学試験の安全実施に至るまで円滑に行うことにより、常時8万人後半から9万人台の安定的な志願者確保を図りたい。

今年度のオープンキャンパスは、3キャンパスで6月から10月にかけて、計11回にわたりに行われ、300人以上の学生スタッフの活躍などにより昨年度を上回る来場者を迎えることができた。また各学部の協力によりあらかじめ模擬授業の機会となり、さらなる志願者開拓に向けて、相乗効果も期待されている。今後も教職員およびオープンキャンパスでの学生スタッフの協力のもとで、学生募集から入学試験の安全実施に至るまで円滑に行うことにより、常時8万人後半から9万人台の安定的な志願者確保を図りたい。

2010年度 法政大学入学試験日程一覧

【一般入試 T日程】東京・札幌・仙台・新潟・金沢・長野・名古屋・大阪・広島・福岡の10会場を実施

試験日	学部	郵送出願期間(締切日消印有効)
2月5日(金)	法学部・文学部・経済学部・社会学部・経営学部・国際文化学部・人間環境学部・現代福祉学部・キャリアデザイン学部・スポーツ健康学部・理工学部・生命科学部・デザイン工学部・情報科学部(すべて全学科)	1月5日(火)～1月22日(金)

※GIS(グローバル教養学部)と、理工学部機械工学科航空操縦学専修はT日程入試での募集を行いません。

【一般入試 A方式】東京・札幌・仙台・名古屋・大阪・福岡の6会場を実施

学部	学科	郵送出願期間(締切日消印有効)	試験日
文学部 I 日程	哲学科	1月5日(火)～1月27日(水)	2月7日(日)
	日本文学科		
	史学科		
経営学部 I 日程	経営学科	1月5日(火)～1月27日(水)	2月7日(日)
人間環境学部	人間環境学科	1月5日(火)～1月27日(水)	2月7日(日)
GIS(グローバル教養学部)	グローバル教養学科	1月5日(火)～1月27日(水)	2月7日(日)
法学部 I 日程	国際政治学科	1月5日(火)～1月27日(水)	2月8日(月)
文学部 II 日程	英文学科	1月5日(火)～1月27日(水)	2月8日(月)
	地理学科		
経営学部 II 日程	経営戦略学科	1月5日(火)～1月27日(水)	2月8日(月)
	市場経営学科		
経済学部 I 日程	国際経済学科	1月5日(火)～1月27日(水)	2月9日(火)
	現代ビジネス学科		
社会学部 I 日程	社会政策科学科	1月5日(火)～1月27日(水)	2月9日(火)
	メディア社会学科		
現代福祉学部	福祉コミュニティ学科	1月5日(火)～1月27日(水)	2月9日(火)
	臨床心理学科		
理工学部 I 日程	機械工学科(機械工学専修)	1月5日(火)～2月1日(月)	2月11日(木)
	応用情報工学科		
生命科学部 I 日程	生命機能学科(生命機能学専修)	1月5日(火)～2月1日(月)	2月11日(木)
デザイン工学部 I 日程	都市環境デザイン工学科	1月5日(火)～2月1日(月)	2月11日(木)
	システムデザイン学科		
経済学部 II 日程	経済学科	1月5日(火)～2月1日(月)	2月12日(金)
社会学部 II 日程	社会学科	1月5日(火)～2月1日(月)	2月12日(金)
スポーツ健康学部	スポーツ健康学科	1月5日(火)～2月1日(月)	2月12日(金)
理工学部 II 日程	電気電子工学科	1月5日(火)～2月3日(水)	2月14日(日)
	経営システム工学科		
生命科学部 II 日程	生命機能学科(植物医科学専修)	1月5日(火)～2月3日(水)	2月14日(日)
	環境応用化学科		
デザイン工学部 II 日程	建築学科	1月5日(火)～2月3日(水)	2月14日(日)
情報科学部	コンピュータ科学科	1月5日(火)～2月3日(水)	2月15日(月)
	デジタルメディア学科		
法学部 II 日程	法律学科	1月5日(火)～2月3日(水)	2月16日(火)
	政治学科		
国際文化学部	国際文化学科	1月5日(火)～2月3日(水)	2月16日(火)
キャリアデザイン学部	キャリアデザイン学科	1月5日(火)～2月3日(水)	2月16日(火)

【大学入試センター試験利用入試前期】

試験日	学部	学科	郵送出願期間(締切日消印有効)
1月16日(土) 1月17日(日)	法学部・文学部・経済学部・社会学部・経営学部・人間環境学部・現代福祉学部・キャリアデザイン学部・スポーツ健康学部・理工学部・生命科学部・デザイン工学部・情報科学部	左記学部のうち、文学部心理学科を除く全学科	1月5日(火) 1月15日(金)

【大学入試センター試験利用入試後期】

試験日	学部	学科	郵送出願期間(締切日消印有効)
1月16日(土) 1月17日(日)	法学部・文学部・経済学部・経営学部・人間環境学部・現代福祉学部・キャリアデザイン学部・スポーツ健康学部・理工学部・生命科学部・デザイン工学部・情報科学部	左記学部のうち、文学部心理学科、現代福祉学部臨床心理学科、デザイン工学部建築学科を除く全学科	2月24日(水) 3月9日(火)

※国際文化学部、GIS(グローバル教養学部)はセンター試験利用入試を実施しません。

エクステンション・カレッジ便り

伝統の「能楽講座」



江戸東京歴史探訪

エクステンション・カレッジは開設12年目に突入り、能楽に関するものが国唯一の総合的研究機関である野上記念法政大学能楽研究所の協力により開講している。今年度は少し趣を変えて現在能《安宅》を取り上げた。能をこれから観られる方にも、何十年も能楽堂に通われている方にも、興味深い講座となった。

学生キャリアアップ講座「文章作成力養成講座」&「コミュニケーション力養成講座」
社会人に欠かせない自己表現力を身に付ける講座として、新たに開講。学生生活で力量不足を痛感し、苦手を意識を払拭したいという方や、就職活動準備の一環で参加する方、将来にわたっての重要性を感じ、能力アップを目指す方など、受講目的はさまざまである。

特別セミナー「大同生命保険株式会社寄付講座」

社会人に欠かせない自己表現力を身に付ける講座として、新たに開講。学生生活で力量不足を痛感し、苦手を意識を払拭したいという方や、就職活動準備の一環で参加する方、将来にわたっての重要性を感じ、能力アップを目指す方など、受講目的はさまざまである。

資格学校との提携で受講料は低価格。しかもキャンパス内で学べる講座。在学生と一般社会人が今夏の資格試験合格を目指す。

「毎日学べる英会話」
毎日40分間、気軽に学ぶことができる英会話講座は受講生にとって絶好の学習チャンスとなっている。

「江門東京 歴史探訪」
江戸の歴史の面影をとどめる史跡や古利など歴史スポットを訪ねながら町歩きを楽しむ人気が高い散策講座。今年度は、新たに当カレッジ三鷹校(法政大学中学

「社会保険労務士合格講座」
資格学校との提携で受講料は低価格。しかもキャンパス内で学べる講座。在学生と一般社会人が今夏の資格試験合格を目指す。

「毎日学べる英会話」
毎日40分間、気軽に学ぶことができる英会話講座は受講生にとって絶好の学習チャンスとなっている。

「江門東京 歴史探訪」
江戸の歴史の面影をとどめる史跡や古利など歴史スポットを訪ねながら町歩きを楽しむ人気が高い散策講座。今年度は、新たに当カレッジ三鷹校(法政大学中学

国際交流センターの活動

短期受入れ プログラムの実施

第34号でも紹介したように、2009年4月に欧州連合(EU)のエラスムス・ムンドゥス・マスタープログラム「ユーロ・フィロソフィー」の集中授業を行い、ヨーロッパからの学生5人や本学大学院生らが参加した。また2010年1月中旬には、協定校である台湾の国立中山大学の学生51人の受け入れを行う。英語による講義と企業訪問(企業概要説明、視察、質疑応答など)、学生交流を行う予定である。

台湾・韓国の卒業生とのネットワーク構築

徳安彰国際学術支援本部 Orange主催、法政大学と協定を締結し、協定校

担当常務理事、林公美国国際学術支援統括本部長らが日本留学フェア(日本学生支援機構主催)の視察を兼ねて7月に台北(台湾)を、また9月にソウル(韓国)をそれぞれ訪問し、本学に留学し卒業した両国在住の卒業生らと懇談した。懇談では、それぞれの卒業生組織の現状や今後の大学との連携などについて意見交換した。今後さらなる交流ネットワークの構築を推進していく。



江戸東京歴史探訪

学生キャリアアップ講座「文章作成力養成講座」&「コミュニケーション力養成講座」
社会人に欠かせない自己表現力を身に付ける講座として、新たに開講。学生生活で力量不足を痛感し、苦手を意識を払拭したいという方や、就職活動準備の一環で参加する方、将来にわたっての重要性を感じ、能力アップを目指す方など、受講目的はさまざまである。

特別セミナー「大同生命保険株式会社寄付講座」
社会人に欠かせない自己表現力を身に付ける講座として、新たに開講。学生生活で力量不足を痛感し、苦手を意識を払拭したいという方や、就職活動準備の一環で参加する方、将来にわたっての重要性を感じ、能力アップを目指す方など、受講目的はさまざまである。

特別セミナー「大同生命保険株式会社寄付講座」

社会人に欠かせない自己表現力を身に付ける講座として、新たに開講。学生生活で力量不足を痛感し、苦手を意識を払拭したいという方や、就職活動準備の一環で参加する方、将来にわたっての重要性を感じ、能力アップを目指す方など、受講目的はさまざまである。

「毎日学べる英会話」
毎日40分間、気軽に学ぶことができる英会話講座は受講生にとって絶好の学習チャンスとなっている。

「江門東京 歴史探訪」
江戸の歴史の面影をとどめる史跡や古利など歴史スポットを訪ねながら町歩きを楽しむ人気が高い散策講座。今年度は、新たに当カレッジ三鷹校(法政大学中学

「社会保険労務士合格講座」
資格学校との提携で受講料は低価格。しかもキャンパス内で学べる講座。在学生と一般社会人が今夏の資格試験合格を目指す。

「毎日学べる英会話」
毎日40分間、気軽に学ぶことができる英会話講座は受講生にとって絶好の学習チャンスとなっている。

「江門東京 歴史探訪」
江戸の歴史の面影をとどめる史跡や古利など歴史スポットを訪ねながら町歩きを楽しむ人気が高い散策講座。今年度は、新たに当カレッジ三鷹校(法政大学中学

「社会保険労務士合格講座」
資格学校との提携で受講料は低価格。しかもキャンパス内で学べる講座。在学生と一般社会人が今夏の資格試験合格を目指す。



沖繩ドキュメンタリー映画祭のシンポジウム風景

沖繩研究のこれから

沖繩文化研究所所長 屋嘉宗彦(法学部教授)

1972年、沖繩の「本土復帰」の年に、英文学者の中野好夫氏が膨大な復帰運動関連資料を法政大学に寄贈した。その受け皿として設立されたのが本研究所。所長、外間守善氏の精力的な活動と貴重な歴史資料収集によって、本研究所は名実ともに沖繩研究のメッカとなり、多くの研究者が、ここを若き日の研究の場として成果を発表し果立っていった。

2000年にポアンナード・タワー21階に移転した後は、研究者はもとより市民・学生の研究所図書室利用が著しく増え、さらに、研究所が主催する公開講座やセミナー、在学生父母の参観行事、舞踊公演や映画祭等々を通じて市民への研究所のアピールの機会が増えた。

沖繩研究は、現在、国際的な広がりを見せるようになり、ボン大学やベネチア大学、ハワイ大学などに沖繩を研究テーマとする研究所がつけられている。沖繩への関心の高まりとそれに導かれる研究は、今「小さな文化」の行方が至る所で問題になっている。強化されていくのではないだろうか。

一つは、かつて小さな島嶼(とうしょ)国家であった琉球・沖繩が、日本や中国などの大国に囲まれながらも、独自の文化をつくり、独自の文化を引く。三番目は、沖繩がアメリカの軍事的世界戦略に組み込まれていることから生じる諸問題である。これは、日本と沖繩の間に文化や心情に及ぶ歪みをもたらしている。

研究所が多様な沖繩研究に一層寄与できるように今後とも体制を整備・強化していきたいと思う。

公開講座風景

沖繩ドキュメンタリー映画祭のシンポジウム風景

沖繩ドキュメンタリー映画祭のシンポジウム風景

難関資格試験・採用試験の合格状況

難関資格試験・採用試験とされる国家公務員I種採用試験、公認会計士試験、司法試験の今年度の結果が判明した。

国家公務員I種採用試験には5人が合格した(既卒・院生含む)。公認会計士は、公認会計士・監査審査会が出身大学別に合格者を発表していないため、例年集計に苦労しているが、2009年12月1日時点で18人の本学関係者の合格が判明している。このうち8人が本学会計大学院の院生・修士生である。(最新の本学関係者の合格判明数は法政大学ホームページの最新情報に掲載)

司法試験は新司法試験において25人、旧司法試験において1人の本学関係者がそれぞれ合格を果たした。さらに、増田総長や元最高裁判所判事の遠藤光男氏(1952年法学部卒)などの関係者も出席した司法試験の合格者祝賀会が9月26日に、アルカディア市ヶ谷で盛大に行われた。



新司法試験合格者の皆さん

市ヶ谷キャンパスエコツアーによる地域連携の推進

環境センター

千代田区と新宿区にまたがったロケーションにある市ヶ谷キャンパスは、美しい庭園、メダカが泳ぐ池、サツマイモの栽培スペースをはじめ四季を通じて緑豊かな景観が楽しめる意外な素顔を持っている。本学環境センターでは、10月29日には、「平成21年度新宿区エコリーダー養成講座 入門編 オープン講座Ⅱ(主催:新宿区立環境学習情報センター)」が、環境センターではご要望があればキャンパスエコツアーを実施している。

として、新宿区民約50人を招いたキャンパスエコツアーを実施。市ヶ谷キャンパスにおける環境配慮の見どころを紹介した。

また、チーム・マイナスなどで構成する「低炭素社会」が発見「実行委員会」千代田」が作成した「エコまちマップ in 千代田」に本学のキャンパスエコツアーが掲載された。

環境センターではご要望があればキャンパスエコツアーを実施している。

環境センターではご要望があればキャンパスエコツアーを実施している。

保持し続けたという事実への興味である。グローバル化が進む今日の世界では、「小さな文化」の行方が至る所で問題になっている。強化されていくのではないだろうか。

一つは、かつて小さな島嶼(とうしょ)国家であった琉球・沖繩が、日本や中国などの大国に囲まれながらも、独自の文化をつくり、独自の文化を引く。三番目は、沖繩がアメリカの軍事的世界戦略に組み込まれていることから生じる諸問題である。これは、日本と沖繩の間に文化や心情に及ぶ歪みをもたらしている。

研究所が多様な沖繩研究に一層寄与できるように今後とも体制を整備・強化していきたいと思う。

環境センター

環境センター

環境センター

環境センター

環境センター

環境センター

環境センター

環境センター

お問い合わせ

お問い合わせ

お問い合わせ

お問い合わせ

お問い合わせ

お問い合わせ

お問い合わせ

お問い合わせ

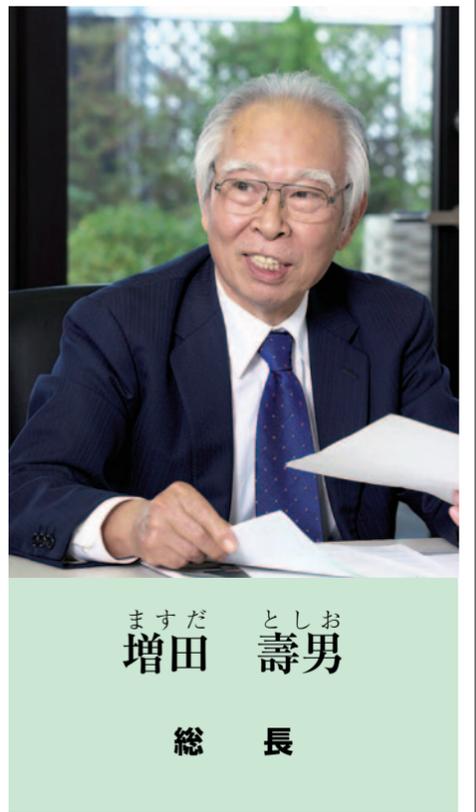
お問い合わせ

座談会



法政大学の キャリア教育・支援

～総長と語る 「私のキャリア形成」～



おとし男 増田 総長

増田 法政大学は03年にわが国初のキャリアデザイン学部を開設し、05年にはキャリアセンターを発足させるなど、他に先駆けて体系的かつ実践的なキャリア教育、キャリア支援を行ってきました。本日は在学生の皆さんに、それぞれの体験から法政大学のキャリア教育・支援についてお話を聞いていきたいと思っております。まず、簡単な自己紹介と、それぞれの学部への志望動機を聞かせてください。

萩原 キャリアデザイン学部4年の萩原禎晃です。出身が商業高校で、卒業生の半分は就職という環境だったので、自然とキャリアデザイン的な視点で問題意識が培われていたように思います。ただ、入学前は学部内容を十分に理解できていなかった、入学前は学部の内容が分かってきたというのが本当のところなんです。就職は小林製薬株式会社に内定をいただいています。

インターンシップ体験で自分自身と向き合えるようになった

増田 本学ではキャリアを単なる職業や資格という意味ではなく、広く人間形成ととらえて、学生がキャリアを自主的に設計するための能力を育てること、学生が自ら選んだキャリアを歩むために必要なさまざまな能力を育てることの2つを、キャリア教育の目的としています。篠塚さんはこれまで振り返って、自分のキャリア形成に役立つ授業やプログラムなどありましたか？

篠塚 私は1年の夏休みにイギリスのオックスフォード大学で短期研修を受けた、そこでいろいろな問題意識をため込んでゼミが始まったという感じでした。キャリアについてはゼミ活動を通じて常に考えていました。2年の後期にゼミの海外研修でベトナムとラオスに行き、ODA（政府開発援助）の現場を見てきたのですが、そのときに自分の何も専門性がないことにすごく不安を覚えて、初め



しづか 篠塚 さん

法学部国際政治学科4年

キャリアセンターを利用して良かったと思うのは、何から始めていいかわからず、特に希望業種も決まっていないうちで、就職活動の心構えから、業界の見方や特徴、最新動向に至るまで分かりやすく解説していただけて、就職活動の水先案内となったことです。セミナーなどは学内開催で、予

てキャリアセンターに行きました。「何か資格をとろうと思うんですけど」とキャリアセンターに飛び込んだら、「その前にあなたは将来何がしたいのですか？」と聞かれて（笑）。そこから少しずつですがキャリアセンターを利用するようになりました。法学部では昨年度からキャリアデザイン入門という科目が1、2年でとれるようになっていて、2年でキャリアデザイン論という科目を履修できます。私は履修しませんでした。3年になってからはキャリアセンターの就業支援行事にはできるだけ参加しています。その中でも役立ったのがインターンシップです。夏休み中に損保会社で5日間体験したのですが、学ぶことが多かったんです。それまで保険業界とはどういうものかわからなかった。実際に営業して回るとイメージと全然違う。契約を取りに営業しに行くのは1年次に自己研究から入った後、どう利用したか。いろいろなか、頻りに仕事を現場を体験して、多くの社員の方々の働き方

や働く姿勢を見聞きすることができ、働くということが自分にとってどのような意味を持つのかなど、自己のキャリア形成について真剣に自分自身と向き合うようになりました。

増田 篠塚さんや恒田さんや、働くというところが自分にとってどのような意味を持つのかなど、自己のキャリア形成について真剣に自分自身と向き合うようになりました。

萩原 キャリアデザイン学部は1年からキャリアを意識できるようなカリキュラム体系になっています。授業は、キャリア管理論、キャリアカウンセリングといった、キャリアや働き方に関するものが主で、自分の将来や人生を考えていくときに何を軸にすればいいのか、働く上で自分にとって何が重要なのか、ということ判断する基準を学ぶことができます。

増田 キャリアセンターを利用して良かったのは、個別相談です。キャリアセンターにはキャリアアドバイザーがいるので、1対1で親身に面談をしてくれるのでいろいろアドバイスを受けてきました。3年の終わりから4年にかけて10数回行きました。ほかには3年の7月と10月に1度ずつ就活の準備セミナーに、春休みに行われた企業説明会や秋の業界分析セミナーにも参加しました。

キャリアセンターを利用して良かったと思うのは、何から始めていいかわからず、特に希望業種も決まっていないうちで、就職活動の心構えから、業界の見方や特徴、最新動向に至るまで分かりやすく解説していただけて、就職活動の水先案内となったことです。セミナーなどは学内開催で、予

キャリアセンターが就職活動の水先案内に

「サステイナビリティ研究教育機構」の設置

機構長(大学院委員会議長、社会学部教授) 船橋晴俊

文部科学省が公募した「教育研究高度化のための支援体制整備事業」プログラムのなかで、このほど本学申請の「サステイナブルな社会システムデザインに関する研究」が採択された。

これを受け、本年8月、法政大学サステイナビリティ研究教育機構が、大学院レベルの研究・教育の高度化に取り組む新しい全学的組織として発足した。

サステイナビリティ(持続可能性)は、現代社会の直面する課題を理解し、21世紀の世界の進むべき道を示す鍵概念である。

「高度情報処理技術者を目指す学士力の育成」の取り組み

平成21年度文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」(テーマA)大学教育推進プログラム採択

情報科学部

大学生の学力低下が懸念される中、理工系学部卒業生が必要とする能力を学生に確実に獲得させること

情報処理技術者の育成を目指す。高度情報処理技術者に必要とされる①専門基礎知識・スキル②自主性・コミュニケーション力③実務経験のうち①と②の高度化を目標としている。

シテイの理念の下、環境憲章を制定(1999年)した。大学院環境マネジメント研究科、政策科学研究科、環境政策プログラム、エコ地域デザイン研究所などにおいて、環境サステイナビリティに直結する研究・教育に取り組んできた。

本研究教育機構は、環境サステイナビリティをコアのテーマとしながら、経済や福祉システムのサステイナビリティを主要対象とする

「大学院レベルの教育と研究活動の融合による若手研究者の育成」大学院生を積極的にポスト・ドクトル(DC)、リサーチ・アシスタント(RA)として

本研究機構は設立時に20の研究チームが参加する5つの研究プロジェクトを育成する。

さらに、ガラス箱オフィスセンター(GBC)を設置し、学生同士や学生と教員の間のコミュニケーションを円滑化する。

本取り組みでは学生の能力をGRE(Graduate Record Examination)によって評価し、その推移の分析結果や学生アンケート結果、教員による自己点検内容を

大阪の天王寺で産声を上げ37年に東京移転。戦前・戦中の厳しい時代を経て、49年に法政大学の付置研究所となった。86年の多摩キャンパス開設に伴って研究所も移転した。09年は研究所が法政大学と合併して60年という記念の年でも

四大学連携による「まちづくりリスト」の育成

大学院政策創造研究科長 岡本 義行

地域を元気にするには、国際的なネットワークで活動することが必要である。また、マネジメントやマーケティングの高い専門性を持つ専門家

大阪の天王寺で産声を上げ37年に東京移転。戦前・戦中の厳しい時代を経て、49年に法政大学の付置研究所となった。86年の多摩キャンパス開設に伴って研究所も移転した。09年は研究所が法政大学と合併して60年という記念の年でも

大原社会問題研究所90周年 最近の取り組みと今後の展望

大原社会問題研究所 所長 五十嵐 仁

大原社会問題研究所は、9年(大正8)年に設立され、2009年2月9日に創立90周年を迎えた。

大阪の天王寺で産声を上げ37年に東京移転。戦前・戦中の厳しい時代を経て、49年に法政大学の付置研究所となった。86年の多摩キャンパス開設に伴って研究所も移転した。09年は研究所が法政大学と合併して60年という記念の年でも



10月開催の「第22回国際労働問題シンポジウム」



「大原社会問題研究所創立90周年記念フォーラム」



資料展示会「水保病とむきあった労働者」

今後とも、研究所の実績と特色を生かし、現代社会に生起する労働問題の解明を中心に、幅広い社会問題の研究に力を入れていきたい。法政大学および関係者各位のさらなるご支援をお願いする次第である。

大阪の天王寺で産声を上げ37年に東京移転。戦前・戦中の厳しい時代を経て、49年に法政大学の付置研究所となった。86年の多摩キャンパス開設に伴って研究所も移転した。09年は研究所が法政大学と合併して60年という記念の年でも

OG 訪問

観客と共に作る 無声映画に魅せられて

映画がまだ活動写真と呼ぶ関係が上手に築いていくのが苦手で、一人でできる仕事を模索しながら悶々とした。そのため上映中に場面の進行に合わせて背景を解説したり、各登場人物のセリフをしゃべったりしながら、映画の世界を観客に伝える「活動弁士」と呼ばれる人がいた。

現在でも、無声映画の上映、鑑賞には活動弁士の存在は欠かせない。その第一人者である澤登翠氏は、日本国内にとどまらず、海外でも高い評価を得ている。大学卒業後、一世を風靡した人気活動弁士である松田春翠氏に弟子入りして実力をつけ、現在では全国各地の無声映画の上演会や、海外の映画祭などに引つ張りだこの売れっ子だ。

澤登翠氏へ
「今のうちにビデオやDVDがあるわけではなく、16ミリフィルム時代です。何回も繰り返して確認することはできません。先生のお宅で試写していた

「特にお宅で試写していた」
「先生のお宅で試写していた」

「先生のお宅で試写していた」
「先生のお宅で試写していた」



活動弁士 澤登 翠氏

Profile
さわと・みどり
東京都生まれ。
法政大学文学部哲学科卒業。故松田春翠に入門し、日本を代表する活動弁士として国内だけでなく、海外でも高い評価を得ている。
日本映画ペンクラブ賞(1990年)、日本映画批評家大賞ゴールデン・グローリー賞(1995年)、第21回山路ふみ子文化財団特別賞(2000年)、文化庁芸術祭優秀賞【演芸部門】(2002年度)など、受賞歴多数。テレビ出演などのほか、新聞コラム執筆など活動の幅は多岐にわたる。著書に『活動弁士 世界を駆ける』(2002年)など。



「特にお宅で試写していた」
「先生のお宅で試写していた」

「先生のお宅で試写していた」
「先生のお宅で試写していた」

「先生のお宅で試写していた」
「先生のお宅で試写していた」

「先生のお宅で試写していた」
「先生のお宅で試写していた」

キャリアアセンターの取り組み

4年生の就職環境

2008年秋の米国サブプライム問題は日本経済にも大きな打撃を与えた。企業の新卒採用意欲は大幅に低下し、いわゆる「売り手市場」から「買い手市場」へと一変し、この2〜3年好調であった企業の採用意欲は一気に萎んでしまった。

2009年4月に発表された、大卒を対象とする求人倍率(リクルートワークス研究所)は、前年の2.14倍から1.62倍となり、0.52ポイント(約25%)低下した。企業規模別にみると従業員1000人未満企業の求人倍率は3.63倍(前年4.26倍)に対し、同1000人以上の企業では、0.55倍(前年0.77倍)と、昨年比べて一段と厳しい数字となっている。

主要企業の内定者数
09年10月18日付の日本経済新聞によると、主要企業の大卒の採用内定者数(10年春入社予定)は、09年春に入社した人数に比べ28.6%減となり、2年連続のマイナスで、減少率は1995年の同社の調査開始以来最大であった。

景気後退を受け、企業は軒並み採用数を減らした。製造業では、自動車・部品56.4%減、電機40.4%減、非製造業では、不動産・住宅47.0%減、証券43.1%減と大幅に減少した。

最近の就職活動の特徴

①筆記試験の重要性
②厳しくなった最終面接
③大手著名企業の選考は短期集中型
④一層の大手・安定志向
⑤誠実性(40.0%)

キャリアアセンターの取り組み

キャリアアセンターでは専任職員とキャリアアドバイザーが日常的に就職活動支援や低学年からのキャリア形成支援を行っている。

この数年は就職活動を終えた4年生がボランティアとして後輩の相談に応じ、アドバイザーする学生サポート制度も大変充実してきた。先輩・後輩のきずなを一層強め、卒業後も母校の学生やキャリアアセンターへの強力な応援となる組織づくりも着々と進んでいる。

キャリアアセンターの取り組み

キャリアアセンターでは専任職員とキャリアアドバイザーが日常的に就職活動支援や低学年からのキャリア形成支援を行っている。

この数年は就職活動を終えた4年生がボランティアとして後輩の相談に応じ、アドバイザーする学生サポート制度も大変充実してきた。先輩・後輩のきずなを一層強め、卒業後も母校の学生やキャリアアセンターへの強力な応援となる組織づくりも着々と進んでいる。

キャリアアセンターの取り組み

キャリアアセンターでは専任職員とキャリアアドバイザーが日常的に就職活動支援や低学年からのキャリア形成支援を行っている。

この数年は就職活動を終えた4年生がボランティアとして後輩の相談に応じ、アドバイザーする学生サポート制度も大変充実してきた。先輩・後輩のきずなを一層強め、卒業後も母校の学生やキャリアアセンターへの強力な応援となる組織づくりも着々と進んでいる。

キャリアアセンターの取り組み

キャリアアセンターでは専任職員とキャリアアドバイザーが日常的に就職活動支援や低学年からのキャリア形成支援を行っている。

この数年は就職活動を終えた4年生がボランティアとして後輩の相談に応じ、アドバイザーする学生サポート制度も大変充実してきた。先輩・後輩のきずなを一層強め、卒業後も母校の学生やキャリアアセンターへの強力な応援となる組織づくりも着々と進んでいる。

ニッポン・スラム・フェスティバル

2009年夏

大学に進学するためだけに勉強ではなく、大学進学後、さらにその先の自分の未来を創るチカラを育てる。それが本校の提唱するキャリア・クリエーションの考え方だ。そのために高専二、高三では多彩な選択講座を設置している。

中でも特徴的なのは、MBLAプログラムと総合ゼミ(M(マスコミ)、B(ビ)

から問題を発見し解決を図る分主張を展開していくことが出来る力を育てたい。専門書を読み、レジュメにまとめて発表し合った。専門書を読み、レジュメにまとめて発表し合った。専門書を読み、レジュメにまとめて発表し合った。

中高

中学と高校が一体となり、また高校3年で進路要求別にクラスを分ける新教育課程が導入されて3年目を迎えた。生徒たちは進路を見据えながら学習と自主活動との両立に励んでいる。

2009年は新型インフルエ

「初めは一万字も書けるわけがない」と思っていたが、取り組んでいくうちに、字数よりもどうやって論を立ててデータをあてはめて自

附属校短信

二中高

戦後の教育改革の時期に、この川崎木月の地で学園生活を送った、10期から14期(1950年から1955年)の卒業生を迎えた。この時期は、当時の学校長であった太田徳蔵氏が「近くながら、時代の要請に応えた新

等学校にしたい。そしてさらに

「東西文化の比較」「手は、新たなステージに到達の技術と生活文化」「旅する人の観光学」「文字以前の

自主活動でも

教育改革が進む

女子高では9月26日、27日にオレンジ祭(文化祭)が開催された。新型インフルエ

9月22日、岩手県花巻市が、市出身の宮沢賢治について優れた研究や評論に取

女子高

委員会は、質の高いオレンジ祭を目指し改革を進めたため、文化の薫り高い展示や公演も増えた。

9月12日から18日までポランティアセンターが実施した、財政破綻し財政再建

岡村民夫国際化学部教授が「宮沢賢治賞奨励賞」を受賞

9月22日、岩手県花巻市が、市出身の宮沢賢治について優れた研究や評論に取

8月24日、韓国・延世大がデザイン工学研究科開設記念イベントを開催



延世大デザイン工学研究科開設記念イベントの様子



延世大デザイン工学研究科開設記念イベントの様子

延世大デザイン工学研究科開設記念イベントの様子

能楽セミナー

「弘化勸進能絵巻の世界」を開催

法政大学では毎年秋に能楽に関する公開講座を、大学院と能楽研究所の共催で実施している。14回目となる2009年は「弘化勸進能絵巻の世界」と題して、弘化勸進能についてのセミナーを5回にわたって開催した。各回の演題は次のとおり。宮本圭造「弘化勸進能に集う人々」、山中玲子「勸進能の舞台の上」、原田信男「棧敷と盛り場の食文化」、高村雅彦「劇場の宇宙」、表章「江戸の勸進能」(敬称略)。

弘化勸進能とは、幕末の弘化5(1848)年、とよの宝生大夫が幕府の許可と後援を得て、江戸の筋違橋門外の広大な空き地で行った能の一大興行のこと。晴天15日間わたるこの催しに、大名・旗本はもちろん、能にほとんど触れる機会がなかった老若男女の町人までもが、こぞって見物



弘化勸進能絵巻

を専門とする本学の高村雅彦氏といった他分野の研究者も交え、多角的に考察するのが狙いであった。

分野の異なる研究者が集

に詰めかけたという。その弘化勸進能の様子を克明に描いたのが「弘化勸進能絵巻」である。筆者は『江戸名所図会』の著者として有名な斎藤月岑。見物席に所狭しと座る町人、あり方は社会的身分階層があるいは出番に備えて楽屋裏で準備する能役者の様子などが、あたかも写真を見ているかのような緻密さで描かれている。

今回のセミナーは、その「弘化勸進能絵巻」を紹介しながら、当時の勸進能が江戸の都市文化の中でどのような意味を持っていたのか、食文化研究の第一人者である原田信男氏、建築史

法政ミュージアム・特別セミナーを開催

法政ミュージアムの役割は、本学の資源と成果を大々的に発信する「窓」になることである。法政ミュージアムの事業の一環として行われた第1回企画展示のテーマは、「和辻哲郎の書き込みを見よ! 和辻倫理学の今日的意義」(開催期間・9月24日~10月23日、開催場所・外濠校舎6階展示コーナー)であった。

この展示の目的は、大正・昭和期の日本を代表する哲学者・倫理学者・思想家である和辻哲郎の蔵書(本学図書館所蔵)に残されている、思考のプロセスを示す文化のなかの和辻倫理学の意義と制限、清水正之聖学院大学人文学部教授は、野勉本学常務理事・文学部教授が総括を行った。会場には100人を超える参加者が集まり、配布された「解説・図録」を参照しながら、熱心に聞き入っていた。

第3回特別セミナー(講演会)は、10月9日に富士見坂校舎遠隔講義室で、「和辻哲郎とハイデガー哲学」と題して、ハンス・ペーター・リーダーバツハ関西学院大学社会学部教授が講演を行い、約50人の参加者に強い刺激を与えた。

第1回法政ミュージアム企画展示は、「和辻の思想の意図―歴史の記憶と再評価―と『書き込み』の意義を明らかにする」という点で大きなインパクトを学内外に与えることができた。

体育会の活躍

2009年夏以降の活躍

日本学生選手権水泳競技大会で男子水泳部が総合優勝

9月4日から熊本県で日本学生選手権水泳競技大会が開催され、本学水泳部男子は30年ぶり3度目の総合優勝を果たした。種目別でも内田翔選手(人間環境学部4年)が男子200メートル自由形で大会新記録となる1分46秒93で優勝、大会2連覇を達成。

慶応大の立石選手と同居1位、優勝を果たした。また男子400メートルリレーと男子800メートルリレーでも出場した各選手が見事な泳ぎを見せ、それぞれ3分17秒88、7分15秒49(大会新)の好タイムで優勝するなど各種目で活躍した。

山田壮太郎選手は9月4日から国立競技場で行われた日本学生陸上競技対校選手権大会でも17メートル70を記録し優勝、大会2連覇を達成している。

同大会には、200メートルに小林雄一選手(経済学部2年)が21秒04で3位に入賞した。

また、新潟国体では、ボクシングの成年男子の部で行われた朝日杯争奪日本女子学生選手権でも2大会ぶりの優勝を飾った。

日本女子学生ゴルフ選手権などで綾田選手が優勝

8月26日から行われた日本女子学生ゴルフ選手権競技でゴルフ部の綾田紘子選手(文学部4年)が初優勝を果たした。また、同じく柳澤美芽選手(国際化学学部1年)も初出場ながら2位となり、法政大学がワンツーフイニッシュを飾った。

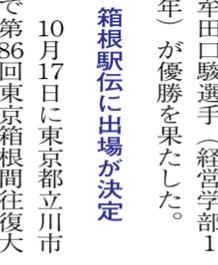
また、新潟国体では、ボクシングの成年男子の部で行われた朝日杯争奪日本女子学生選手権でも2大会ぶりの優勝を飾った。

予選会は東京都立川市の陸上自衛隊立川駐屯地をスタートとして、国営昭和記念公園内にゴールする20kmのコースで行われた。本学の学生や教職員、卒業生らも多数駆け付け、法政の選手へ大きな声援を送った。

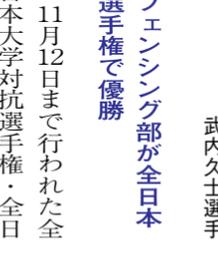
最後の通過順位は11位に名前を受けた武内選手は、150キロを超える速球が魅力の投手。3年春のリーグ戦では、防御率0.96、奪三振率11.61の成績を残し、全日本のメンバーに選



山田壮太郎選手



山田壮太郎選手



武内久士選手

同じく男子400メートル自由形でも大会新となる3分50秒56で優勝し、こちらも大会2連覇を果たした。金田和也選手(社会学部4年)は男子100メートルバタフライに出場し、52秒77で優勝。200メートルバタフライでも1分56秒22のタイムを出し、2種目を制覇した。

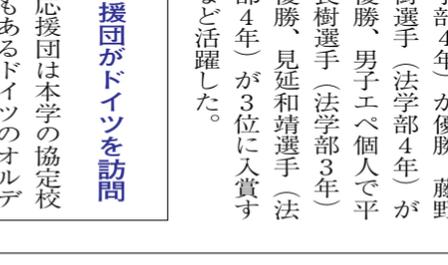
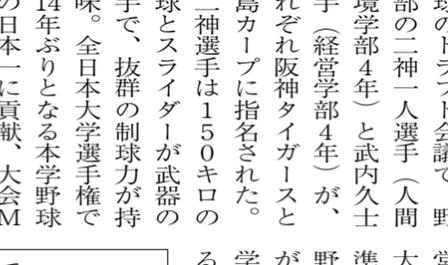
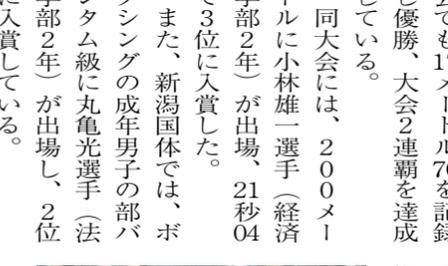
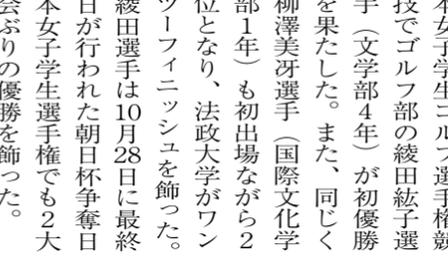
男子200メートル平泳ぎに出場した大塚一輝選手(人間環境学部3年)は、大会新記録の2分8秒64で

10月5日に開催されたトキメキ新潟国体の砲丸投げ種目成年男子の部に出場した山田壮太郎選手(現代福

9月14日から駒沢オリンピック公園内で行われた全日本学生レスリング選手権で51kg級に出場した平田幸子選手(文学部3年)が2位に、59kgに出場した岡谷恵利選手(文学部1年)が3位に入賞した。

全日本学生シングルスラットで優勝

9月4日から愛知県の海



バドミントン部、インカレ団体戦で女子初優勝

10月16日より滋賀県立体育館で全日本学生バドミントン選手権大会が開催され、団体戦で女子が優勝、男子が準優勝という結果を収めた。女子の優勝は女子部創部5年目にしての快挙。同大会では鈴木美希子(人間環境学部3年)・菅野友(国際化学部1年)・菅野友(国際化学部1年)・菅野友(国際化学部1年)が女子ダブルスで3位に入賞した。

出され国際大会にも出場。それぞれ卒業後の活躍が期待される。

箱根駅伝に出場が決定

10月17日に東京都立川市で第86回東京箱根間往復大学駅伝競走への出場をかけた予選会が行われ、本学陸上競技部は見事予選会を突破、2010年1月2日・3日に行われる本戦への出場を決めた。

10月29日に行われたプロ野球のドラフト会議で、野球部の二神一人選手(人間環境学部4年)と武内久士選手(経営学部4年)が、それぞれ阪神タイガースと広島カープに指名された。

二神選手は150キロの直球とスライダーが武器の投手で、抜群の制球力が持ち味。全日本大学選手権でも14年ぶりとなる本学野球部の日本一に貢献、大会MVPにも選出された。

予選会は東京都立川市の陸上自衛隊立川駐屯地をスタートとして、国営昭和記念公園内にゴールする20kmのコースで行われた。本学の学生や教職員、卒業生らも多数駆け付け、法政の選手へ大きな声援を送った。

最後の通過順位は11位に名前を受けた武内選手は、150キロを超える速球が魅力の投手。3年春のリーグ戦では、防御率0.96、奪三振率11.61の成績を残し、全日本のメンバーに選

11月12日まで行われた全日本大学対抗選手権・全日本個人選手権において、男子エベ団体で優勝、フルレ団体でも準優勝、男子フルレで目黒友薫選手(経営学部4年)が優勝、藤野大樹選手(法学部4年)が準優勝、男子エベ個人で平野良樹選手(法学部3年)が優勝、見延和靖選手(法学部4年)が3位に入賞するなど活躍した。

応援団がドイツを訪問

応援団は本学の協定校でもあるドイツのオルデンブルク大学より、協定10年目の記念として招聘を受け、団員10人が9月7日~11日まで現地を訪問した。

応援団の歴史でも初となる海外遠征で、現地では市長・学長への表敬訪問や、SA(スタディアブロード)でドイツに滞在する本学学生との交流、応援団のデモンストレーションの披露など国際交流を果たした。



二神一人選手